

# 琉球大学学術リポジトリ

米国管理下の南西諸島状況雑件 日本政府現地出先  
機関（総理府南方連絡事務所） 1

メタデータ	言語: 出版者: 公開日: 2019-01-29 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/20.500.12000/43395">http://hdl.handle.net/20.500.12000/43395</a>

南連 駁員，在函發錄、納稅證明書，提出不要

外務省アジア局長殿

アジア局長  
審議官  
総務参事官

那 第 619 号

昭和35年7月20日

総理府特別地域連絡局長 殿

那覇日本政府南方連絡事務所長

南方連絡事務所職員及びその家族の在留登録不要  
並びに出域における納税証明書提出の不要について

1 当事務所職員及びその家族が琉球列島に在住中、一般滞在者と同様に在留登録を要求され、琉球列島から出域の際には納税証明書（但し納税無し<sup>の証明</sup>）を入手し出発港の入管官憲に提出を要求され、又勤務途中一時離任の場合には再入域の許可を予め取付けておかなければならないことになっていた。

当事務所職員は、昭和27年4月14日付米国側覚書「琉球諸島における日本政府連絡事務所の設置に関する件」によつて日本政府から派遣され米国民政府を相手として公務を遂行するものとしてその意味では在外公館に準ずる性格を有しているものであり、米国民政府の我が方に対する処遇はいささか当を得ないものと思料判断した

ので、本官は5月11日、米民政府アンドリツク民政官及びブランケンシツプ高等弁務官政治顧問に対し何分の考慮善処方を申入れたところ、同民政官は本件をワシントンへ経伺し何分の回答を行う旨確約した。

2 6月18日アンドリツク民政官は他用往訪の本官に対し、本件に関しては我が方要望通りワシントンより承認し来つた旨口頭回答した。

3 よつて民政府渉外室長に対し、上記2のアンドリツク民政官の口頭回答を文書にて通報ありたい旨を要求した。

4 7月1日、琉球政府出入管理部長並里亀蔵氏が本官を来訪、6月30日付文書を以て米民政府公安部長シモンズ氏より<sup>同</sup>部長あてに、別添甲号写及び乙号写のとおり「布令第125号出入管理令中すべての外国人に対する入域後30日以内に在留登録をすること、及び出域の際の納税証明書提出の義務は日本政府職員及びその家族が公用の資格で琉球に在留している場合その適用を免除する」ことを指示して来た旨説明すると共に上記関係文書を本官に手交した。

又その席上、同部長は民政府からの同指示中に隠われた「日本政府職員及びそれらの家族」の具体的内容を当南方連絡事務所職員及びその家族のみならず、公用身分証明書を所持して入域する日本政府職員及びその家族にも適用するつもりであり、それに関する詳細な規定作成後再び連絡越す旨述べた。（この詳細な規定については

35.7.29  
35.7.30

1487局  
38.8.  
局長附 北 1779

総 理 府

再び連絡あり次第追つてお知らせする。)

5 7月14日上記3の当方の要望によつて、民政府は別添丙号写(1960年7月13日付書簡HORI-10)、を送付越した。

すなわち、「数週間前貴官(佐藤)が民政官との会談において、日本政府職員及びその家族が公的資格で琉球に駐在する(stationed)場合在留登録の諸規定の適用から除外されたいこと及びそれらの者が琉球列島から出域する場合納税証明書提出の諸規定の適用から除外されたい旨申入れられたことについて申述べたい。6月半ばに、民政府渉外室は、貴官(佐藤)の要請にそつた措置がすでに取りられた旨貴官(佐藤)へ口頭通報したが、最近、貴方よりこの内容を書面通報方要請あつた。

よつて、琉球政府出入管理部へ通達したものの抜萃を次のとおりお知らせする。

— 布令第125号(出入管理令)中すべての外国人は入域後30日以内に在留登録すること、及び出域の際の納税証明書提出の義務規定は、日本政府職員及びその家族が公用の資格で琉球に在留している場合は、その適用を免除する。また日本政府南方連絡事務所に勤務する職員及びそれらの家族から、沖縄に在任中、再入域許可申請がある場合は在留登録することなく再入域許可証明書の発給が許可される —」

6 なお、本官が最初に本件についてアンドリツク民政官に要望した

場合も、又国際慣行からみても、本件のごとき米国側の措置改善はその適用対象を当然に当連絡事務所職員及びその家族に限るべきと思ふが(事実、5に記述の7月13日付民政府書簡中にも「日本政府職員及びその家族が公的資格で琉球に駐在する(stationed)場合」とある)、4に記述のとおり、並里琉球政府出入管理部長は本件通達の適用対象を単に当連絡事務所職員及びその家族のみならず公用来島の日本政府職員及びその家族へも拡張する意向のようであるが本官としては同部長の拡張措置を当分そのまま放置する考である。

本信写送付先

外務省アジア局長

別添乙号

HCRI-PS

一九六〇年六月三十日

琉球列島米国民政府公安部 APO331

公安部長

H. N. シモンス

琉球政府出入管理部長

並 里 龜 藏 殿

日本政府職員に対する出入管理令通用の  
一部免除について

一 布令第百二十五号「出入管理令」中下々の外国人に対する入域後三十日以内の在留登録すること及び去域の際の納税証明書の提出についてわかれ義務規定は日本政府職員及びこれらの家族が公用の資格を琉球に在留している場合はこれらの者についてその適用を免除する旨 首席民政官から指示があった。更に民政官は日本政府南方連絡事務所勤務する職員及びこれらの家族から沖縄に在任中再入域許可申請がある場合は在留登録することなく再入域許可証明書の発給を許可した。

二 この取扱いはつ之貴下職員に周知させるより希望する。

COPY

UNITED STATES CIVIL ADMINISTRATION OF THE RYUKYU ISLANDS  
Public Safety Department  
APO 331

30 June 1960

HCRI-PS

MEMORANDUM TO: Mr. James K. Namizato, Superintendent of Immigration  
Bureau, Government of the Ryukyu Islands

SUBJECT: Waiver of Immigration Requirements for Japanese  
Government Officials

1. The Civil Administrator has directed that the provisions of CA Ordinance 125 requiring all foreign nationals to register within a period of 30 days following their arrival, and the provisions calling for the presentation of a Tax Clearance Certificate at the time of departure, will be waived in the case of Japanese Government Officials and their dependents, provided they are here in an official capacity. He has also authorized the issuance of re-entry permits without registration to members of the regular staff of the Japanese Government Nanpo Liaison Office and their families during the time they are assigned to Okinawa.

2. It is desired that you advise all immigration personnel of these changes.

H. N. SIMMONS, Director  
Public Safety Department

別添甲号

COPY

UNITED STATES CIVIL ADMINISTRATION OF THE RYUKYU ISLANDS  
APO 331

HCRI-LO

July 13 1960

Dear Mr. Sato:

Reference is made to your conversation with the Civil Administrator several weeks ago concerning the desirability of waiving those provisions of law governing registration of Japanese Government officials and their dependents when stationed in the Ryukyus in an official capacity and those provisions calling for the presentation of a Tax Clearance Certificate at the time of departure from the Ryukyu Islands by these same officials and dependents. In mid-June you were personally informed by the Liaison Office of the Civil Administration that steps had been taken to meet with your request. Recently a representative of your office has asked that this verbal information be confirmed in a written document.

Please be advised that the following is extracted from information transmitted to the Immigration Bureau of the Government of the Ryukyu Islands:

"The provisions of CA Ordinance 125 requiring all foreign nationals to register within a period of 30 days following their arrival, and the provisions calling for the presentation of a Tax Clearance Certificate at the time of departure, will be waived in the case of Japanese Government officials and their dependents, provided they are here in an official capacity. Also authorized is the issuance of re-entry permits without registration to members of the regular staff of the Japanese Government Nanpo Liaison Office and their families during the time they are assigned to Okinawa."

Sincerely,

KENNETH S. HITCH  
Lt Col AGO  
Administrative Officer

Mr. Takegoro Sato  
Chief, Japanese Government  
Nanpo Liaison Office  
Naha, Okinawa

別添丙号

3

5